

## ■都市と農山漁村の調和ある発展

県内の各地域は、変化に富んだ県土に特色のある地域社会が形成されています。県全体の均衡ある発展を実現し、都市、農山漁村を通じて快適な生活が営まれるようにすることは、重要な県政の課題です。このため、人口や産業の適正な配置を進め、総合的な居住環境の整備を行い、各地域においてそれぞれの中核都市を中心とした一体的な地域づくりを進めます。

### ●熊本都市圏の整備

熊本都市圏は、経済、行政、文化などほとんどの面で本県の中心となっていますが、今後とも県全体の発展のけん引的役割を果たすべき地域であり、更に、九州全体の均衡ある開発を考えた場合、九州における中枢管理機能を福岡市と分担することが期待される地域です。

このため、恵まれた水資源、広い土地、九州の中央に位置するという地理的優位性をふまえ、高速、広域交通網、高次都市機能の整備をはかります。

また、九州の中枢管理都市としてふさわしい快適で文化的な住みよい都市づくりを目指して、生活環境施設、文化、体育施設などの整備を進めます。



#### 主要な方策

- 圏域内交通網の整備（熊本北バイパス、熊本東バイパス等バイパスの建設、立体化の促進、東町空港線等幹線街路の整備）
- 中枢管理機能の拡充（広域行政センターの建設推進、教育試験研究機関の拡充、経済・流通機能の充実—熊本港、流通センターの建設促進）
- 高次都市機能の整備（県民文化センター、伝統工芸館、県立総合体育館の建設、国際交流研修センターの建設）
- 生活環境施設等の整備（住宅、公園、下水道の整備）
- 近代的な市街地の形成促進（熊本駅前再開発、土地区画整理事業の促進）
- 水資源の保全かん養



### ●地域中心都市と農山漁村の一体的整備

県土の均衡ある発展をはかり、どの地域においても住民が快適な生活を享受することができるように、それぞれの地域の中心都市と農山漁村とを一体として、総合的な居住環境の整備をはかります。

このため、地域の中心都市と農山漁村とを結ぶ交通網の整備をはかるとともに、農山漁村においては、基本的な生活環境施設と身近な体育施設、コミュニティ施設等の整備を行います。地域の中心都市においては、地域全体の広域的な利用を考慮して相当程度の都市的サービスが受けられるよう教育・文化・医療・商業・レクリエーション等の機能の充実をはかり、更に都市としての魅力を高めるため、近代的な市街地の形成と生活環境施設の整備を進めます。

#### 主要な方策

- 道路等の整備（県道、市町村道、都市計画道路の整備）
- 土地区画整備事業の促進（玉名市松木地区他20地区）
- 市街地再開発事業の促進（八代駅前他3地区）
- 公園緑地の整備（人吉市他17市町）
- 水道施設の整備（水道未普及地区の解消）
- 下水道事業の促進
- 廃棄物処理対策の促進
- 住宅の建設と宅地の供給

### ●過疎・山村・離島地域の振興

過疎、山村、離島地域について、若い人を含めた地域住民が安心して、生きがいを持って生活することのできる豊かで住みよい地域社会を形成するため、総合的な居住環境の整備を促進します。特に、産業基盤の整備を促進し、地域の特性を生かした産業の振興をはかり、就業機会の確保と所得の向上に努め、住民生活の安定を期します。

#### 主要な方策

- 交通通信体系の整備（狭あい道路の拡幅、交通不能区間の解消、バス路線の整備、御所浦架橋）
- 教育文化施設の整備等（学校施設の充実、学級編成基準の緩和、運動広場、図書館、視聴覚ライブラリー、郷土資料館の整備促進）
- 保健、医療体制の確保（へき地住民健康診査巡回事業の促進、へき地医療情報システムの導入検討）
- 地域の特性を生かした産業の振興（加工農産物の開発、特用林産物の生産拡大、沿岸漁場整備、企業導入の促進、観光開発）
- コミュニティ活動の促進と人づくりの推進。

#### 街路等事業計画

事業名	総事業量	
街路事業	51路線	40.3km
公園整備事業	18市町	363.4ha
水道施設整備事業	給水人口	97,000人
下水道施設整備事業	整備面積	5689.1ha
一般廃棄物処理施設整備事業	処理人口	427.6人 他
	ごみ処理 し尿処理	320 t/日 661kl/日
住宅建設事業		25,259戸

